



発行/古里住民自治協議会 発行者/金子 祐三 編集/広報委員会 第56号

## 「社会を明るくする運動」古里地区住民集会

7月は、第69回「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の手カラ～をスローガンとする強調月間・再発防止啓発月間です。この催しは、昭和24年から始まり、全国規模ですべての地域で7月に開催されています。7月6日(土)古里総合市民センターにて、80名以上の皆様の参加を得て開催されました。

長野少年鑑別所首席専門官の齋藤敏浩氏に「最近の少年非行」～非行少年の鑑別と非行問題の相談現場から～と題して、ご講演をいただきました。講演内容は、(1)少年鑑別所について(2)最近の非行少年の特徴(3)非行の見方、非行少年の立ち直り、



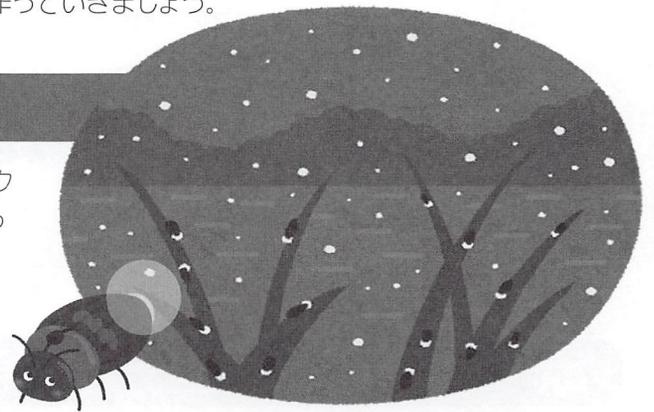
の3部構成で行われました。それぞれの少年たちがなぜ非行に走るのか具体的に事例を交えてお話をいただきました。非行少年が立ち直るためには、本人が変わろうとする事が最も重要ですが、周囲のサポートも絶対に必要不可欠です。地域の人たちが理解し、認め、協力し、受け入れ、長い目で暖かく見守り、力になり支えていかなければと思います。互いに助け合い、支え合い、明るい社会を作っていきましょう。



## ホタル観賞会

6月22日(土)、午後7時30分三才地区にある北部スポーツ・レクリエーションパークに幼児から大人まで、多くの家族連れに集まっていたきました。

まず始めに環境カウンセラーの村松聖夫先生からホタル生態などについてお話をお聞きし、知識を深めた後、田子川と土京川の合流地点に行き、参加者全員で「ほ～、ほ～ホタル来い」とホタルの歌を歌ってホタルを呼んでから観賞をはじめました。



道路沿いから川の中を覗いて見ると、闇夜の中で雑草の繁みや木の葉の陰から優しく幻想的な光を放ち飛び交うホタルの光を見つけ、子供たちからは「あ!いた、いた」「あっちにも、こっちにも」と歓声が聞こえてきました。

当日は午後から激しい雨が降り心配しましたが雨も上がり曇天で風もなく少し雨が当たっていましたが、ホタルの観賞には良い条件となりホタルも昨年に比べ多く飛び交っていました。「生まれて初めてホタルを見た」とか「子供の時見た以来だ」等々皆さんからうれしい言葉を聞くことができました。事前の住自協回覧「いきいきふるさと」、市民新聞、週刊長野への掲載等により地区内外から約190人の参加者があり大変楽しいホタル観賞会となりました。

## 春のごみゼロ運動・河川一斉清掃を実施

各区の環境整美委員会では、ゴミのない美しい環境をつくるため、毎年春・秋の2回「ゴミゼロ運動」と「河川一斉清掃の日」を定めて実施しています。

今年も皆様のご協力により道路、公園、河川がきれいになりました。ご参加いただきました大勢の皆様ありがとうございました。



## 市政出前講座「ごみ・資源物の分別とリサイクルについて」開催

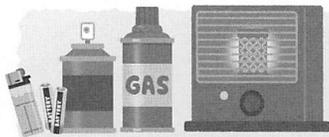


7月10日(水)午後7時より、環境整美委員会主催による市政出前講座が古里総合市民センターで開催されました。講師には、長野市環境部生活環境課中沢健一課長補佐をお迎えし、各地区の環境美化長を中心に30名の方が参加されました。

す  
す  
め  
め  
ゆ  
ゆ  
う  
う  
3R

Reduse(リデュース)	物を大切にし、無駄な買い物はやめましょう!
Reuse(リユース)	捨てる前に知恵と工夫で再使用、再利用!
Recycle(リサイクル)	資源として再生利用できるものはきちんと分別しましょう!

4月の資源再生センターの火災では大変ご不便をおかけしましたが、ごみ収集車でも今年度すでに4件(年間では10~20件)の火災が発生していますので特に注意して下さい。



- ① カセットボンベ、スプレー缶等は、必ず使い切って、穴をあけて、缶の日に出す。
- ② 石油ストーブ・ライターは、必ず燃料や電池を抜いて不燃ごみか、リサイクルへ。
- ③ 電池は、乾電池のみを出す。(充電式電池、ボタン電池は回収協力店へ)

各ご家庭に配布されている「資源物とごみの出し方」保存版の冊子にある注意事項をもう一度確認して、正しい分別で、決められた日に、決められた時間・場所へ出しましょう。PTAや公民館などの団体が資源回収を行っている場合はご協力をお願いします。

## 赤十字奉仕団古里分団「視察研修」実施

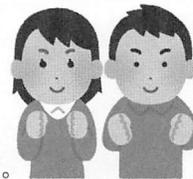
7月3日(水)、赤十字奉仕団古里分団22名で県庁「通信指令室」・「防災対策本部室」、日本赤十字社長野県支部を視察しました。



警察本部通信指令室では県内すべての110番通報が入り、現場に向かう警察官に迅速的確な指令が出るとの説明がありました。

また、3階にある災害対策本部室では、災害発生時の住民の命を守り、地区の被害を最小限にとどめる速やかな活動をおこない、住民を守る大きな力になると実感しました。

日本赤十字社長野県支部は明治32年に全国に先がけて設立され、災害現場の救護活動、命を守る身近な医療活動、地域に根差した福祉活動、人々に寄り添う活動、救援物資の整備、備品の備蓄を進めていると説明がありました。



日頃から災害に備えよう!  
自分たちの地域は自分たちで守ろう!

## 古里消防団ポンプ操法大会出場

本年は5年に一度まわってくるポンプ操法大会出場分団という事で、古里分団としては4班(上駒沢消防団)が平成11年以来20年ぶりの出場となり、4月初旬より訓練を重ねてまいりました。

団員それぞれ仕事や家庭を持ちながらの早期の訓練は大変ではありましたが、たくさんの消防団OBの皆様、そして柳原分署の職員や古里分団が所属する第二方面隊東部ブロックの他の団員の方々に多大なご支援ご指導を頂きながら、故障者や事故などなく、そして何より当団員達が団結して取り組む事ができました。



訓練の成果を披露



市大会は残念ながら8位という結果に終わり、上部協会の大会へ進む事は叶いませんでしたが、ポンプ操法の精神である「技術の向上と体力練磨、士気の高揚に資するもの」に十分値するものとなりました。本年の経験を活かしこれからも古里地区の安心・安全、防災活動に励んでまいりたいと思います。皆様方より賜りました、ご支援、ご声援誠に有難うございました。

## 獅子舞フェスティバルに参加

5月3日(金)に、長野市主催の「第3回ながの獅子舞フェスティバル」が善光寺表参道で開催されました。長野市内の獅子舞保存団体を中心に須坂市、千曲市、高山村からの5団体を含む計81団体が集まり、古里地区からは金箱、下駒沢、上駒沢の3団体が参加しました。

上駒沢では、昨年に引き続き、育成会と上駒沢伝統文化継承実行委員会との連名による「親子獅子」と育成会・保存会合同での「神楽囃子」を披露しました。演舞は、1回目がアゲイン前メイン会場、2回目はもんぜんぷら座前にて行いました。



迫力のある  
神楽演舞



日差しが強く照りつける快晴の下、2回の演舞とも日頃の練習の成果を多くの観客の皆様にご披露することができました。演舞後の観客からの大きな拍手に、ちょっぴり照れくさくも誇らしげな子供たちの表情が印象的でした。

子供神楽は今年で42年目を迎えますが、地域とのふれあいの場として、学校では学べない伝統芸能継承のため保存会の皆様のご指導を頂きながら今後も活動して参ります。

## 救急・炊き出し講習会を実施

梅雨入りした小雨の朝、パズルのような鍋の組み立てに少し頭を使いましたが、無事炊き出し講習会となりました。ハイゼックスというビニール袋に無洗米とめんつゆ入りの水を入れて煮ます。美味しく炊き上げるには、米と水を正確に計るのがポイントです、と伝えると、皆さんきちんと計ってらして、うまく炊きあがったと思います。



心肺蘇生とAED講習では、太田秋夫講師のユーモア交えた熱心な指導のもと、「質問ありますか」の問いに何人も手が上がり、皆さんが、救急法を自分事と捉えていらっしやるのが伝わってきます。お連れの小中学生2人も熱心に心臓マッサージをやっていました。最後まで参加してくださり皆さんお疲れ様でした。

## 三才駅の七夕飾りとさまざまな活動(三才駅利用促進協議会)

三才駅に「七夕飾り」の竹二本の設置と、折り紙で作った七夕にちなむ飾り付けの天の川や星を駅舎の壁や天井に行いました。また、短冊とこよりを駅利用の方に飾っていただくとう用意したところ、笹が隠れるほどたくさんお願いごとを吊るしていただきました。季節感あるさまざまな展示を駅舎に行っている「三才駅かわいい化プロジェクト」の一環です。

三才駅キャラクター「サイまる」は、同プロジェクトの最初の活動により誕生しました。プロジェクトの名前にある“かわいい”の通りのキャラクターが好評で、月1回駅前に出演しています。サイまるは長野市が委嘱するながの子育て応援キャラクターにも指名されています。

同プロジェクトは、清泉女学院大・同短期大の学生と三才駅利用促進協議会(古里と若槻の支所・住民自治協議会が主催)にて構成、活動しています。

また、駅舎には聖徳保育園の年長の園児の皆さんが描いた絵を飾っています。この絵も季節に合わせて更新していて、駅を訪れた方の注目を集めています。三才駅利用促進協議会が展示を担当しています。

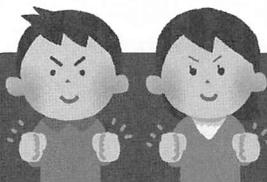
三才駅にはこのようなしなの鉄道の利用を促進するための活動がいくつもあります。地域の皆様には三才駅の利用をお願いするとともに、駅を訪れてこれらの展示をぜひご覧いただき、楽しんでください。



三才駅キャラクター  
サイまる

## 北部幹線に係る地域活性化委員会の設置について(お知らせ)

今年度から新たに長野市の補助金を活用し「ながのまちづくり活動支援事業」を始める事になりました。事業実施に当たり「新たな事業委員会」を設置し事業を推進する計画です。そのため、会則の規定により総会に代わり「臨時常任評議会」を開催し、ふるさと部会に「北部幹線に係る地域活性化委員会」を新たに設置しました。委員会の目的は、2021年4月開通予定の北部幹線沿いの活性化を図るための調査研究を行なうものです。



**災害に備えて! 防災訓練**が実施されます  
令和元年8月24日(土) 9時00分~11時30分

古里住民自治協議会(安心安全部会)では、各区の自主防災会等と連携し防災訓練を実施します。